

1 抑揚

<書き下し文・意味>

- (1) **しばすら** 死馬すら且つ之を買ふ、況んや生ける者をや（死んだ馬でさえ買ったのだ、まして生きた馬ならなおさら買うだろう）
- (2) **いはんや** 庸人すら尚ほ之を羞づ、況んや将相に於いてをや（普通の人間でさえ恥ずかしく思う、まして将軍や宰相ならなおさらだ）
- (3) **おいてをや** 犬馬に至るまで尽く然り、而るを況んや人に於いてをや（犬や馬に至るまでみんなそうだ、なのに、まして人間であればなおさらそうだ）
- (4) **かつまなぶ** 聖人の賢を以てすら且つ学ぶ（聖人のようにすぐれていてさえ、なお学ぶのだ）
- (5) **いはんやたかつなをや** 子すら且つ然り、況んや高綱をや（あなたでさえそうだ、まして高綱であればなおさらだ）

2 累加

- (6) **わするのみならず** 唯だに帰るを忘るのみならず、以て老を終ふべし（この土地は、ただ都に帰るのを忘れさせるだけでなく、晩年を過ごすのによい）
- (7) **ひとりけんじゃのみ** 独り賢者のみ是の心有るに非ざるなり（ただ賢者にだけこの心があるのではない）
- (8) **あにただに** 豈に惟だに之を怠るのみならんや、又従ひて之を盗む（どうしてただ怠けているだけであろうか、さらに盗みを働いているのだ）
- (9) **かんでうのみならず** 独り漢朝のみならず、今も亦有り（ただ漢王朝の時代だけでなく今の時代もある）
- (10) **えらぶのみにあらず** 独り君の臣を択ぶのみに非ず、臣も亦君を択ぶ（ただ主君が家臣を選ぶだけでなく、家臣のほうでも主君を選ぶのだ）

<句法解説>

A且B、況C乎は、抑揚の句法。「AすらかつB、いわんやCをや」と読み、「AでさえBだから、ましてCはなおさらだ」と訳す。

A尚B、況C乎は、抑揚の句法。「AすらなほB、いわんやCをや」と読み、「AでさえBだから、ましてCはなおさらだ」と訳す。

而況A乎は、抑揚の句法。「しかるをいわんやAをや」と読み、「ましてAならなおさらだ」と訳す。

以[レ]A且～は、抑揚の句法。「Aをもつてすらかつ～」と読み、「Aでさえなおする」と訳す。

A且B、況C乎は、抑揚の句法。「AすらかつB、いわんやCをや」と読み、「AでさえBだから、ましてCはなおさらだ」と訳す。

不[二]唯～[一]は、累加の句法。「ただに～のみならず」と読み、「ただ～だけではない」と訳す。

非[二]独～[一]は、累加の句法。「ひとり～のみにあらず」と読み、「ただ～だけではない」と訳す。

豈惟～は、累加の句法。「あにただに～のみならんや」と読み、「どうしてただ～だけだというのか」と訳す。

不[二]独～[一]は、累加の句法。「ひとり～のみならず」と読み、「ただ～だけではない」と訳す。

非[二]独～[一]は、累加の句法。「ひとり～のみにあらず」と読み、「ただ～だけではない」と訳す。



【アプリ版のご紹介】古文・漢文

古文・漢文を学習中の中学生、高校生必見！定期試験とセンター試験に頻出の「古文単語」「古典文法」「漢文」を、完全に無料で学べるアプリが登場！！



【オマケの一題】

中学社会 地理・歴史・公民

15代将軍・徳川慶喜が、政権を朝廷に返上したことを何と言う？

(A) 大政奉還 (B) 廃藩置県 (C) 刀狩り (D) 建武の新政